

試験時間	60分
------	-----

【注意事項】

1. 試験監督(試験開始)の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題冊子は1ページから3ページまであります。
4. 試験監督の指示により、問題冊子と解答用紙に受験番号および氏名を記入しなさい。
5. 試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて試験監督に知らせなさい。
6. 試験終了後、問題冊子と解答用紙はともに机の上に置いておくこと。持ち帰ってはけません。

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

植物の中には、種から一年以内で花を咲かせて枯れてしまう「一年生植物」と、何年も生きることができる「多年生植物」がある。

大きくなる木は、多年生の植物である。

木の中には大木となって、何十年も何百年も生きているものもある。

現在、世界でもっとも長生きしている植物はスウェーデンのトウヒで、その樹齢は九五〇年であると言われている。およそ一万年も生きているのだ。一万年前というと日本では縄文時代になる。そんな大昔から、生きているというから驚きだ。

一万年とまではいかなくても、日本でも神社のご神木は何百年も生きているし、屋久島の縄文杉は樹齢が二千年以上に及ぶと言われている。

何百年とか何千年といえ、我々人間からすると、時代を超えて永遠の命を生きているようにさえ思える長さだ。

こんなに長く生きる木がある一方で、一年で枯れてしまう草があるから面白い。

ところで、この木と草とでは、どちらがより進化をした植物だろうか。

長生きしている木のほうが、進化した植物のように思えるが、意外なことに1年で枯れてしまう一年生の植物のほうが、より進化した新しいタイプの植物である。

植物はその気になれば、何十年も何百年も生き続けることができるのに、あろうことか短い命に進化しているのである。

〔出典：稲垣榮洋『生き物が老いるということ 死と長寿の進化論』(中公新書ラクレ) 初版2022年6月10日 p116-117〕

設問 一年生で進化する植物と長寿の植物が存在する生態系を保全するために、私たちはどのように環境整備をするべきか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。